

第262回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時 令和3年12月4日(土)
開催形式 Web開催 (LIVE配信) ※会場での開催はございません
配信チャンネル: Web特設視聴サイト 第I会場～第VI会場
開催URL http://www2.convention.co.jp/jcs-kanto/chihoukai/kanto_262.html
会長 信州大学医学部 循環器内科学教室
桑原 宏一郎

御 案 内

- 参加費: 会員 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料 ※学生証必須
- オンライン参加登録: http://www2.convention.co.jp/jcs-kanto/chihoukai/kanto_262.html
受付期間: 11月15日(月) 正午～12月4日(土) 18:00
- プログラム: 教育セッション/会長企画セッション/生物統計セミナー/デバイス開発セミナー
第9回ダイバーシティ・フォーラム/第16回榊原記念研究助成 研究成果発表会
日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部の合同シンポジウム
学術委員会企画セッション/スポンサードセミナー/Awardセッション/一般演題
- 一般演題発表時間: 口演5分、質疑2分
- Award: Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award、Basic・Transrational Research Award、Women's Research Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。
審査委員による第一次書類審査の選考後、地方会当日発表による二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(開催時間 17:10～18:00。口演6分、質疑4分)
なお、以下の項目が審査の対象となります。
1) 正しい医学用語の使用 4) 質問に対する応答
2) 発表時間の厳守と態度 5) 循環器臨床に対する貢献度
3) 考察
審査結果は会期終了後、地方会HPに掲載いたします。
- 専門医単位登録: 第262回地方会では下記単位の取得が可能です。
 - 地方会参加単位 (5単位必修)
オンライン参加登録後、262回Web視聴サイトにログインされた方に地方会参加単位を付与いたします。
 - 教育セッション単位 (3単位必修)
オンライン参加登録後、262回Web視聴サイトにて教育セッションを視聴された方に、教育セッション単位を付与いたします。視聴時間が規定未満の場合は単位が付与されませんのでご注意ください。
※単位取得方法の詳細は地方会HPに記載いたします。
※日本循環器学会単位の反映には会期終了後しばらくお時間をいただきます。
反映後は会員ポータルサイトでご確認いただけるようになります。
 - 心臓リハビリテーション認定指導士更新単位 (3単位)
※単位取得方法の詳細は地方会HPへ掲載いたします。

次回地方会: 第263回地方会は次の通りです。

日時: 令和4年2月26日(土)
開催形式: Web開催 (LIVE配信予定)
会長: 諸井 雅男 (東邦大学医学部 内科学講座 循環器内科学分野 (大橋))

【座長・演者へのご案内】

1. 座長・演者のセッション出演方法

講演はすべてリモートでご登壇頂きLIVE配信いたします。

座長演者は任意の場所よりご自身のPCで事務局が用意するZoomからセッションにご参加いただきます。（視聴者はZoomには直接入らずWeb特設視聴サイトから閲覧いただきます）

- ・インターネットにつながる通信環境がよい場所で接続のご準備をお願いいたします。
- ・極力静かな場所で雑音が入らないようお願いいたします。
- ・お持ちのPCにカメラ、スピーカー、マイクが付属されているかご確認ください。可能な限り、マイク付きイヤホンやヘッドセットマイクなどをご使用ください。
- ・ご自身のPC上では、セッション中に不要なアプリケーションは全て閉じてください。

2. 座長・演者の事前リハーサル

会期当日、Zoomにてリハーサルや進行説明を行います。

リハーサル開始時間やアクセス方法は個別にご案内致します。

3. 発表方法

演者発表はZoom上でご自身にてスライド画面共有のうえご講演いただきます。

発表スライドは「16：9」での作成を推奨いたします。

OSやアプリケーションの制限はございません。

4. 視聴者からの質疑

Web特設視聴サイトにてチャットで受け付けます。

座長演者にはZoom上で質問内容を転送します。質問の採択は座長に一任致しますので内容を読み上げていただき、演者は口頭でご回答ください。

5. 利益相反の開示（演者のみ）

一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部運営内規の（地方会）第11条14に、「地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。」と定められております。

日本循環器学会利益相反（COI）ページを参照のうえ、発表時にCOI状態の開示をお願いいたします。

http://www.j-circ.or.jp/coi/coi_index.htm

第262回日本循環器学会関東甲信越地方会（WEB開催）

配信日程：2021年12月4日（土）

開催形態：LIVE配信

会長：信州大学医学部 循環器内科学教室 桑原 宏一郎

	第Ⅰ会場	第Ⅱ会場	第Ⅲ会場	第Ⅳ会場	第Ⅴ会場	第Ⅵ会場
8:55	開会挨拶					
9:00	会長企画セッション 9:00-10:30 各都県による 循環器病対策推進 の取り組み	セッションⅢ 9:00-10:10 虚血性心疾患 1	セッションⅣ 9:00-10:10 虚血性心疾患 2	セッションⅦ 9:00-10:10 心不全 2・弁膜症	セッションⅩ 9:00-10:10 不整脈 2・デバイス	第9回ダイバーシ ティフォーラム 9:00-10:30 第5回めざせ 循環器専門医！ 循環器専門医試験 対策セミナー
10:30	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
10:50	生物統計セミナー 10:50-11:40 生物統計セミナー	セッションⅠ 10:20-11:30 心筋炎・心筋症	セッションⅤ 10:20-11:30 虚血性心疾患 3・ 末梢血管	セッションⅧ 10:20-11:30 肺高血圧・静脈	セッションⅪ 10:20-11:30 心臓・腫瘍・大動脈	11:00
11:40	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	日本循環器学会 関東甲信越地方会 と日本心臓リハビ リテーション学会 関東甲信越支部の 合同シンポジウム 11:00-12:30 「現代の心リハ Pros & Cons」
11:50	デバイス開発セミナー (基本法・5か年計画) 11:50-12:50 日本発のデバイス を作ってイノベー ションを起こそう！	スポンサードセミナー 1 11:40-12:30 PAH Seminar ～身近に潜むPAH とその背景～	スポンサードセミナー 2 11:40-12:30 「SGLT2阻害薬が 拓く糖尿病治療の 新時代」	スポンサードセミナー 3 11:40-12:30 「データベースによる 臨床・基礎研究から みた心腎連関」	スポンサードセミナー 4 11:40-12:30 「心腎連関を見据 えたこれからの 心不全診療」	12:30
12:50	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
13:00	教育セッションⅠ 13:00-14:30 「心不全治療の 最前線」	スポンサードセミナー 5 12:40-13:30 「病態から考える 心不全薬物療法の 実践」	スポンサードセミナー 6 12:40-13:30	スポンサードセミナー 7 12:40-13:30	スポンサードセミナー 8 12:40-13:30 AIと遠隔モニタリ ングを用いた心房 細動の早期発見	13:00
14:30	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	第16回 榊原記念 研究助成 研究成 果発表会 13:00-15:15
15:00	教育セッションⅡ 15:00-16:30 「循環器研究と その臨床への実装」	スポンサードセミナー 9 15:00-15:50 「動脈硬化性疾患に 対する積極的脂質 低下療法の重要性」	スポンサードセミナー 10 15:00-15:50 My Solutions for the Management of Critical Limb Ischemia	スポンサードセミナー 11 15:00-15:50 「心房細動アプレ ーションの適応、 タイミング、安全性」	スポンサードセミナー 12 15:00-15:50 TAVI low risk 時代の 診断と治療 ～Reaching NEW Heights さらなる高みを目指して～	15:15
16:30	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	15:30
17:10	Basic・ Transrational Research Award 17:10-18:00	Women's Research Award 17:10-18:00	Clinical Research Award 17:10-18:00	Case Report Award 17:10-18:00	Resident Award 17:10-18:00	学術委員会企画 セッション 15:30-17:00 「心房細動を 極める！」
18:00	閉会挨拶					17:00
						休憩
						17:10
						Student Award 17:10-18:00

第 I 会場

会長企画セッション

9:00-10:30

各都県による循環器病対策推進の取り組み

座長 (東京大学大学院医学系研究科 心臓外科) 小野 稔

座長 (信州大学医学部 循環器内科学教室) 桑原宏一郎

脳卒中・循環器病対策基本法—今後の展開

(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

小室 一成

長野県における循環器対策推進の取り組み

(信州大学医学部 循環器内科学教室)

桑原宏一郎

東京都の循環器病対策推進基本計画

(日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

(日本医科大学 心臓血管集中治療科)

清水 渉

山本 剛

千葉県における循環器病対策推進の取り組み

(千葉大学 循環器内科学)

(千葉大学 心臓血管外科学)

(帝京大学ちば総合医療センター循環器内科学)

小林 欣夫

松宮 護郎

中村 文隆

神奈川県における循環器対策法の取り組み

(東海大学医学部附属病院 循環器内科)

伊苺 裕二

栃木県における循環器医療の現状と対策 (II)

(獨協医科大学 先端医科学研究センター)

井上 晃男

茨城県における循環器病対策推進の取り組み

(筑波大学 循環器内科)

石津 智子

家田 真樹

埼玉県における循環器病対策推進の取り組み

(防衛医科大学校 循環器内科)

足立 健

循環器対策基本計画の群馬県における取り組みについて

(群馬大学 循環器内科学)

石井 秀樹

倉林 正彦

(群馬県立心臓血管センター)

安達 仁

(前橋赤十字病院)

丹下 正一

各都県による循環器病対策推進の取り組み—新潟県

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

猪又 孝元

山梨県における循環器病対策推進の現況～計画の素案までを作成

(山梨大学医学部附属病院 第二外科)

中島 博之

(山梨大学医学部附属病院 第二内科)

尾畑 純栄

生物統計セミナー

10:50-11:40

生物統計セミナー

座長 (信州大学医学部 循環器内科学教室) 元木 博彦

メタアナリシス、ネットワークメタアナリシスの見方・読み方

(東京大学 大学院医学系研究科 生物統計学分野)

大庭 幸治

デバイス開発セミナー（基本法・5か年計画） 11:50-12:50
日本発のデバイスを作ってイノベーションを起こそう！

座長（東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学）小室 一成

1. Introduction

（東京大学 循環器内科） 桐山 皓行

2. Needs-Based Innovation in Cardiology

（Weiland Professor of Bioengineering and Medicine Director, Stanford Byers Center for Bionics） Paul Yock

3. 若手循環器医のデバイス開発のススメ

（Stanford University） 池野 文昭

4. Biodesign って何？

（東京大学 循環器内科） 桐山 皓行

5. バイオデザイン発！オンライン心臓リハビリテーションシステムの開発

（大阪大学国際医工情報センター / 大阪大学循環器内科学 / 株式会社リモハブ代表取締役） 谷口 達典

6. 東大バイオデザインのこれまでの取り組み

（東京大学 循環器内科） 桐山 皓行

7. Closing

（Japan Biodesign Program Co-director） 前田祐二郎

教育セッション I

13:00-14:30

「心不全治療の最前線」

座長（東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学）小室 一成

重症心不全に対する非薬物治療の新展開

（富山大学 第二内科） 絹川弘一郎

心不全薬物治療の最新情報

（九州大学大学院医学研究院 循環器内科学） 筒井 裕之

教育セッション II

15:00-16:30

「循環器研究とその臨床への実装」

座長（信州大学医学部 循環器内科学教室）桑原宏一郎

循環器領域におけるクリニカル・シークエンス：信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センターの取り組み

（信州大学医学部 遺伝学教室 / 信州大学医学部附属病院 遺伝子医療研究センター / 信州大学医学部 クリニカル・シークエンス学講座） 古庄 知己

（信州大学医学部附属病院 遺伝子医療研究センター / 信州大学医学部 遺伝学教室 / 信州大学医学部 クリニカル・シークエンス学講座） 山口 智美

循環器臨床研究：どう取り組み、どう考える

（京都大学 循環器内科） 木村 剛

Basic・Transrational Research Award 17:10-18:00

座長 (日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)) 大石由美子
座長 (東京慈恵会医科大学 内科学講座循環器内科) 吉村 道博
審査委員長 (慶應義塾大学 循環器内科) 福田 恵一
審査委員 (群馬大学医学部附属病院 循環器内科) 小坂橋紀通
審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科) 南野 徹
審査委員 (信州大学 医学部再生医科学教室) 柴 祐司

I-1 肥満マウスにおけるANP投与はNAFLD改善・脂肪組織browningを介してインスリン抵抗性改善と保温効果を示す

(東京慈恵会医科大学 附属病院 循環器内科) 木村 悠
名越 智古、大井 悠平、田中 祥朗、高橋 弘武、
柏木 雄介、吉村 道博

I-2 副甲状腺ホルモンの肺高血圧症へ与える役割の解明

(順天堂大学 大学院医学研究科 循環器内科学講座) 上木 裕介
高須 清、小西 博成、南野 徹

I-3 高植物性脂質食は転写因子PPAR α 活性化により心不全を抑制する
-脂質組成が心不全に与える影響の機序解明-

(東京大学医学部附属病院 循環器内科) 武城 怜史
東口 治弘、岸川 理紗、石塚 理人、梅井 正彦、
原田 睦生、小室 一成
(理化学研究所 生命医科学研究センター) 伊藤 薫

I-4 冠動脈内投与法によるヒト多能性幹細胞由来心筋細胞移植の実現可能性について

(信州大学医学部附属病院循環器内科) 小林 秀樹
(慶應義塾大学医学部循環器内科) 遠山 周吾、金澤 英明、福田 恵一
(信州大学医学部再生医科学教室/信州大学先端領域融合研究群バイオメディカル研究所) 門田 真、柴 祐司
(信州大学医学部 循環器内科学教室) 桑原宏一郎

I-5 心不全モデルマウス心房に対するSacubitril/Valsartanの電気生理学的効果

(東京医科歯科大学 循環制御内科学) 岩宮 賢
笹野 哲郎
(東京医科歯科大学難治疾患研究所 生体情報薬理学) 井原 健介、古川 哲史

第Ⅱ会場

セッションⅢ
虚血性心疾患 1

9:00-10:10

座長 (信州大学 循環器内科) 海老澤聡一郎
座長 (済生会宇都宮病院 循環器内科) 下地顕一郎

Ⅲ-1 鎖骨下動脈送血で経皮的心肺補助装置を確立し経皮的冠動脈形成術(PCI)を行った急性広範前壁心筋梗塞の一例

(自治医科大学附属病院 循環器内科) 三川 千裕
青山 泰、小林 久也、大場 祐輔、篠原 肇、
船山 大、菊尾 七臣

Ⅲ-2 ST上昇型急性心筋梗塞と亜急性期に重度僧帽弁閉鎖不全症を併発するも救命し得た一例。

(湘南鎌倉総合病院 循環器内科) 玉城 優介
森山 典晃、横山 裕章、山口 昌志、山岸 民治、
飛田 一樹、宍戸 晃基、山中 太、水野 真吾、
田中 穰、村上 正人、高橋佐枝子、斉藤 滋

Ⅲ-3 MINOCAの原因としての運動誘発性冠攣縮性狭心症の一例

(横浜南共済病院循環器内科) 三須 彬生
木村 茂樹、藤井 洋之、宮崎 紘子、張 峻模、
立石 遼、山口 正男、山上 洋介、島田 博史、
萬野 智子、一色 亜美、清水 雅人、鈴木 誠
(東京医科歯科大学医学部附属病院循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅲ-4 心肺停止の原因に副伝導路の関与が疑われた冠攣縮性狭心症の1例

(東京女子医科大学 循環器内科) 中田 悠貴
片岡 翔平、山田 隆弘、矢崎恭一郎、服部 英敏、
春木伸太郎、南 雄一郎、萩原 誠久
(東京女子医科大学 循環器内科 先進電気的心臓制御研究部門) 柳下 大悟、江島浩一郎、庄田 守男

Ⅲ-5 シロリムス溶出冠動脈ステント留置14年後に2枝同時閉塞の遅発性ステント血栓症を生じた1例

(埼玉医科大学 国際医療センター 心臓内科) 金井 聡
加藤 隆一、保谷 洋貴、中埜信太郎、村松 俊裕

Ⅲ-6 急性冠症候群に対する薬剤被覆バルーンの結果:Propensity score matching解析を用いたDESとの比較

(獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科) 水谷有克子
石川 哲也、中村日出彦、山田 康太、宇梶 僚晟、
越川 優里、近藤 勇喜、志村 暢紀、森 香穂子、
青木 秀行、竹山 太朗、久内 格、中原 志朗、
板橋 裕史、小林さゆき、田口 功

Ⅲ-7 妊娠中に発症した特発性冠動脈解離再発の1例

(横須賀市立うわまち病院 循環器内科) 前田 幸佑
荒木 浩、加藤 聡、吉田 稔、岡田 拓也、
泊口 哲也、鳥村 浩正、水政 豊、黒木 茂、
岩澤 孝昌、沼田 裕一

Ⅲ-8 加齢によるTxA₂非依存性の血小板機能の低下:アスピリン投与中の虚血性心疾患患者における検討

(東京大学医学部附属病院 検査部/東京大学医学部附属病院 循環器内科) 中尾 倫子
大門 雅夫
(東京大学医学部附属病院 循環器内科) 中西 弘毅、木村 公一、赤澤 宏、瀧本 英樹、
武田 憲文、小室 一成

Ⅲ-9 新型コロナウイルスワクチン接種後に急性心筋梗塞を発症した一例

(国立国際医療研究センター病院)

黒住 篤優
鬼久保雄太、石渡 麻衣、長井 蘭、三宅 渉、
山本 純平、鳥居 俊介、久保田修司、中川 堯、
岡崎 徹、山本 正也、原 久男、廣井 透雄

Ⅲ-10 原発性アルドステロン症をもつ不妊治療中の女性におこった無症候性難治性冠攣縮性狭心症の1例

(上越総合病院 循環器内科)

西川 賢
降旗 宏典、翁 佳輝、塚田 俊一、籠島 充

セッションⅠ

10:20-11:30

心筋炎・心筋症

座長 (新潟大学大学院 先進心肺血管治療学講座) 柏村 健
座長 (JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 循環器内科) 矢崎 善一

I-1 高CK血症ならびにII型呼吸不全を契機に抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎と診断しえた一例

(水戸協同病院 循環器内科)

貝塚 奈穂

(筑波大学附属病院 循環器内科)

川松 直人、花木 裕一、山崎 浩、家田 真樹

(筑波大学附属病院 神経内科)

大内 翔悟、辻 浩史、玉岡 晃

(国立精神・神経医療研究センター 病理診断科)

西野 一三

I-2 心室頻拍を契機に診断された不整脈原性右室心筋症の一例

(東京都立墨東病院 循環器内科)

齊田 冠斗

青山 拓令、道浦 悠、長谷川皓紀、

大河内実希子、加藤 太治、長友 理樹、

平野 仁士、大橋 浩一、高山 陽、木全 啓、

服部 愛、黒木 識敬、安倍 大輔、鈴木 紅

I-3 高用量β遮断薬と右室心尖部ペーシングが奏功した経皮的中心隔心筋焼灼術後の閉塞性肥大型心筋症の一例

(独立行政法人 労働者健康安全機構 東京労災病院 循環器科)

鈴木 裕子

中村 文紀、高橋 剛士、林 典行、久次米真吾、

浅原 敏之、吉玉 隆

I-4 新型コロナワクチン接種が契機と疑われる若年男性の急性心膜心筋炎の一例

(横浜市立みなと赤十字病院)

山口 雄大

浅野 充寿、清水 厚哉、工藤 侃、原 果里奈、

小田 淳仁、須藤 浩司、新井 紘史、佐川雄一郎、

重田 卓俊、志村 吏左、有馬 秀紀、鈴木 秀俊、

倉林 学、山内 康熙

I-5 心室細動を合併し補助循環を導入したウイルス性心筋炎の一例

(日本赤十字社 武蔵野赤十字病院)

黒田 麻奈

中島 良太、岸上 哲也、照井 麻央、堀江 知樹、

大方信一郎、長瀬 将、新田 義一、渡辺 敬太、

宮崎 亮一、永嶺 翔、金子 雅一、李 哲民、

永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志

I-6 完全房室ブロックを伴う心サルコイドーシスにステロイド治療を先行し、ペースメーカー留置を回避した一例

(東京慈恵会医科大学附属柏病院 循環器内科)

中山 稜

福島 啓介、大木 理次、新島 旭、山本 裕大、

前原 智紀、吉田 律、白崎 圭輔、久保田健之、

宮永 哲、小武海公明

(東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科)

吉村 道博

I-7 重症慢性心筋炎に対し全身性強皮症の関与が疑われた一例
(信州大学 医学部 循環器内科) 永原 直輝
神崎 佑介、木村 和広、加藤 太門、三枝 達也、
海老澤聡一朗、岡田 綾子、元木 博彦
桑原宏一郎

I-8 心尖部石灰化を伴う可動性腫瘤を認め組織学的にcalcified amorphous tumorと診断し得た肥大型心筋症の1例
(佐久医療センター 循環器内科) 滝 美波
有賀 智輝、長谷川智也、土屋ひろみ、柳澤 聖、
荻原 真之、南野 安正、橘 賢廣、木村 光、
矢崎 善一
(佐久医療センター 心臓血管外科) 石割 圭一、新津 宏和、豊田 泰幸、濱 元拓

I-9 若年女性の劇症型好酸球性心筋炎の一例
(藤沢市民病院) 児玉亜希子
相澤広太郎、宮川 秀一、岡島 裕一、高野 桂子、
三橋 孝之、前島 信彦、塚原 健吾

I-10 僧帽弁尖の高度変性を伴って急性心不全を来した拡張型心筋症の一例
(虎の門病院 循環器センター外科) 三枝 直幹
井上 堯文、中永 寛、佐藤 敦彦、松山 重文、
田端 実

スポンサードセミナー1 11:40-12:30 共催：ヤンセンファーマ株式会社
PAH Seminar ～身近に潜むPAHとその背景～ 座長 (筑波大学医学医療系 循環器内科) 石津 智子
[症例でみる肺高血圧症の診断と治療/地方における質の高い肺高血圧診療体制の確立]

(信州大学 医学部 循環器内科) 木村 和広

スポンサードセミナー5 12:40-13:30 共催：バイエル薬品株式会社
[病態から考える心不全薬物療法の実践] 座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学) 猪又 孝元

(かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科) 佐藤 直樹

セッションII 13:40-14:50
心筋炎・心筋症2・先天性・その他 座長 (信州大学医学部 循環器内科学教室) 元木 博彦
座長 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科) 原 英彦

II-1 ALアミロイドーシスに対する自家末梢血幹細胞移植後の骨髄抑制期間中に発症した急性心筋炎の一例
(慶應義塾大学医学部 卒後臨床研修センター) 古田島太希
(慶應義塾大学医学部 循環器内科) 梅井 智彦、岸野 喜一、品田慶太郎、鶴田ひかる、
白石 泰之、猪原 拓、勝俣 良紀、湯浅 慎介、
福田 恵一
(慶應義塾大学医学部 血液内科) 増田 恭子、加藤 淳

II-2 劇症型心筋炎に対してIMPELLA, PCPSの併用療法が有効であった一例
(済生会横浜市東部病院) 瀬戸長雄介
伊藤 良明、山脇 理弘、小林 範弘、平石 真奈、
毛利 晋輔、堤 正和、本多 洋介、知識 俊樹、
牧野 憲嗣、水澤 真文、白井 重光、山口 航平、
中野 孝英、安部香緒里、岸田登志彦、深川 知哉、
香西 祐樹、合田秀太郎、加地 大悟、中村 匡

- II-3 重症大動脈弁狭窄症を合併し診断に苦慮したATTR心アミロイドーシスの一例
 (東京医科歯科大学 循環器内科) 東山 陽子
 仁井田崇志、山本 佑、松田 祐治、白井 英祐、
 松田 隼治、中村 玲奈、西村 卓郎、落田 美瑛、
 田尾 進、梅本 朋幸、滝川 正晃、米津 太志、
 宮崎 晋介、前嶋 康浩、合屋 雅彦、笹野 哲郎
- II-4 新型コロナワクチン接種後に劇症型心筋炎を発症し不幸な転帰をたどった一例
 (長野赤十字病院 循環器内科) 橋詰 直人
 高松 利文、大熊ゆかり、清水 邦彦、浦澤 延幸、
 宮下 裕介、白井 達也、戸塚 信之、吉岡 二郎
 (長野赤十字病院 病理部) 里見 英俊
 (新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院 循環器内科) 塚田 俊一
- II-5 たこつぼ型心筋症に左室流出路狭窄と僧帽弁閉鎖不全を合併し、心筋架橋を伴った一例
 (日立製作所ひたちなか総合病院) 崔 星河
 川面 貴彦、本田 幸弥、磯崎 大寿、藤原 崇、
 川村 龍、悦喜 豊、山内 孝義
- II-6 手根管症候群術後症例の術前心電図所見の検討
 (国際医療福祉大学市川病院 循環器内科) 船橋 伸禎
 目黒 知己
 (国際医療福祉大学市川病院 整形外科) 新井 健、大谷 俊郎
- II-7 経カテーテル的にVSDを閉鎖した一例
 (新潟県立中央病院) 黒川 孝国
 (新潟大学医歯学総合病院) 米山晋太郎、久保田直樹、大久保健志、木村 新平、
 保屋野 真、柳川 貴央、柏村 健、尾崎 和幸
- II-8 肺動静脈瘻を有する潜在性脳塞栓症の患者に対し経カテーテル閉鎖術を施行した一例
 (公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榑原記念病院 循環器内科) 櫻井康二郎
 佐地 真育、七里 守
 (公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榑原記念病院 小児科) 矢崎 諭、吉敷香菜子
 (日本医科大学 多摩長山病院 脳神経科) 長尾 毅彦
- II-9 トレッドミル運動負荷試験で診断に至った神経調節性失神の1例
 (横浜労災病院 循環器内科) 本道 春花
 長田 淳、沖殿祐太郎、西堂 寛和、久松菜未子、
 藤村公一郎、真鍋 雄二、竹内 幹人、堀米 旭、
 浅野 駿逸、大津 和也、福澤 朋幸、田中 真吾、
 小和瀬晋弥、青木 元、柚本 和彦

スポンサードセミナー9 15:00-15:50
 「動脈硬化性疾患に対する積極的脂質低下療法の重要性」

共催：アムジェン株式会社
 座長 (東海大学医学部 内科学系循環器内科学) 伊苅 裕二

(佐久市立国保浅間総合病院 循環器内科) 篠崎 法彦

座長 (信州大学病院 循環器内科) 岡田 綾子
 座長 (東京女子医科大学 循環器内科) 萩原 誠久
 審査委員長 (筑波大学 循環器内科) 石津 智子
 審査委員 (順天堂大学 循環器内科) 宮崎彩記子
 審査委員 (北里大学病院 循環器内科) 東條美奈子
 審査委員 (東邦大学医療センター佐倉病院 心臓血管外科) 齋藤 綾

II-1 急性心不全におけるNPPV使用と短期アウトカムの関連についての多施設レジストリデータを用いた検討
 (防衛医科大学校循環器内科) 雪野 碧

長友 祐司、足立 健
 (杏林大学医学部循環器内科) 合田あゆみ、河野 隆志
 (済生会中央病院循環器内科) 武井 眞
 (聖路加国際病院循環器内科) 西畑 庸介
 (榑原記念病院循環器内科) 佐地 真育、吉川 勉
 (埼玉医大国際医療センター心臓内科) 豊崎 雄一、中埜信太郎
 (東京医療センター循環器内科) 池上 幸憲
 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 白石 泰之、香坂 俊

II-2 歯周病菌の感染が心筋梗塞マウスモデルの病態に及ぼす影響とその分子機序の解明

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 循環制御内科学) 渡辺 由佳
 前嶋 康浩、中釜 瞬、田村 夏子、米津 太志、
 笹野 哲郎

II-3 器質性僧帽弁逆流への僧帽弁形成術では弁輪面積変化率が術後圧較差出現の予測因子となる

(千葉大学医学部附属病院 循環器内科) 佐々木晴香
 高岡 浩之、江口 紀子、小林 欣夫
 (東千葉メディカルセンター 循環器内科) 佐野 剛一
 (川崎幸病院 心臓外科) 高梨秀一郎
 (千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科) 松宮 護郎

II-4 HIV感染血友病患者における心筋ストレイン解析による心機能評価

(国立国際医療研究センター 循環器内科) 長井 蘭
 葉山 裕真、久保田修司、中川 堯、岡崎 徹、
 山本 正也、原 久男、廣井 透雄
 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 岡 慎一

II-5 安定狭心症における無症候性心筋梗塞(unrecognized myocardial infarction:UMI)の規定因子と予後との関連

(茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院 循環器内科) 藤 云
 金地 嘉久、松田 和樹、左山 耕大、長嶺 竜宏、
 三澤 透、羽田 昌浩、星野 昌弘、杉山 知代、
 角田 恒和
 (東京医科歯科大学附属病院 循環器内科) 米津 太志、笹野 哲郎

第Ⅲ会場

セッションⅣ
虚血性心疾患 2

9:00-10:10

座長 (新潟大学大学院医学総合研究所 循環器内科学分野) 尾崎 和幸
座長 (心臓血管研究所付属病院 循環器内科) 松野 俊介

Ⅳ-1 IgG4関連疾患に伴う冠動脈周囲炎に合併した急性心筋梗塞の一例

(国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 循環器内科) 西尾 祥郎

安井 由実、伊藤 諒、竹川 弘毅、住野 陽平、
秋吉 基光、荒木 恵子、岩井 慎介、加藤 信孝、
村本 容崇、樋口 晃司、小林 一士、大西 祐子、
佐藤 康弘

Ⅳ-2 COVID-19ワクチン初回接種後、当日に急性心筋梗塞を発症した1例

(独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 循環器内科) 田中 宏明

矢野 修平、佐々木賢二、丹羽 直哉、徳田 華子、
鶴見 昌史、矢嶋 紀幸、小野 智彦、松村 圭祐、
鈴木 雅裕

Ⅳ-3 慢性骨髄性白血病(CML)を合併したST上昇型心筋梗塞(STEMI)の一例

(聖路加国際病院 循環器内科) 奥井 健太

蟹江 崇芳、小宮山伸之

(聖路加国際病院 血液内科) 根岸祐梨亜、山下 卓也

Ⅳ-4 新型コロナウイルス感染予防対策下におけるトレッドミル運動負荷心電図検査の有用性の解析

(JR東京総合病院 循環器内科) 小野澤美波

松田 淳、大塩 博子、寺嶋 一裕、川上 拓也、
浅川 雅子、碓井 伸一、杉下 和郎、高橋 政夫

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 葛原 真希

(本郷真砂ハートクリニック) 村岡 洋典

Ⅳ-5 下壁心筋梗塞に真性瘤、心室中隔穿孔を合併した一例

(杏林大学医学部付属病院 循環器内科) 岡本 陽

南島 俊徳、新名 良広、舟橋紗耶華、福士 圭、
斎藤 竜平、河野 隆志、坂田 好美、副島 京子、

(杏林大学医学部付属病院 心臓血管外科) 稲葉 雄亮、遠藤 英仁、窪田 博

Ⅳ-6 冠動脈2枝が同時に閉塞したと思われる急性心筋梗塞の1例

(聖隷横浜病院 心臓血管センター内科) 山田 亘

宮崎 良央、福田 正、河合 慧、眞壁 英仁、
中島 啓介、新村 剛透、芦田 和博

Ⅳ-7 左冠動脈の起始異常による主幹部狭窄に対し、冠動脈バイパス術を施行した1例

(川口市立医療センター 循環器内科) 松永 悠路

渥美 渉、母坪 友太、高橋くらら、笹 優輔、
須貝昌之助、盛川 智之、林田 啓、磯 一貴、
足田 匡史、立花 栄三、國本 聡

IV-8 COVID-19関連肺炎の治療中に冠攣縮性狭心症による心停止をきたし、VA ECMOの導入により救命し得た1例

(川口市立医療センター 循環器科) 笹 優輔
林田 哲、須貝昌之助、磯 一貴、足田 匡史、
渥美 渉、立花 栄三、國本 聡
(日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科) 母坪 友太、高橋くらら、盛川 智之

IV-9 心停止の原因を早期に診断できなかつた急性冠症候群の一例

(国立病院機構 高崎総合医療センター) 村田 智行
大駒 直也、柴田 悟、羽鳥 直樹、久野 貴弘、
高橋 伸弥、小林 紘生、小林 洋明、太田 昌樹、
福田 延昭、広井 知歳

IV-10 VA-ECMOとImpellaの併用を要した重症心筋梗塞の補助循環離脱に一酸化炭素吸入が有効であった1例

(東海大学医学部内科学系 循環器内科) 鈴木 大樹
中村 則人、土屋 亮、遠藤志央里、飯村 和真、
野田 賢史、斎藤 崇史、吉川万里江、宮本 淳一、
上岡 智彦、村上 力、鳥居 翔、棗田 誠、
伊地知 健、田中 重光、大野 洋平、伊莉 裕二

セッションV

10:20-11:30

虚血性心疾患3・末梢血管

座長 (長野赤十字病院・信州大学附属病院 循環器内科) 宮下 裕介
座長 (足利赤十字病院 心臓血管病センター) 沼澤 洋平

V-1 右冠動脈起始異常症例における、バックアップについての一考

(信州大学医学部附属病院 循環器内科) 依田 英貢
永江 歩、正印 航、加藤 太門、三枝 達也、
海老澤聡一朗、岡田 綾子、元木 博彦、
桑原宏一郎

V-2 生来健康な若年女性に発症した特発性冠動脈解離による心筋梗塞の一例

(東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 循環器内科) 渡邊 政人
野村 充希、平木 那奈、塚田 尚子、佐藤 秀範、
長谷川 潤、谷川 真一、徳田 道史、関 晋吾
(東京慈恵会医科大学 循環器内科) 吉村 道博

V-3 発症に心筋架橋が関与したと考えられた急性心筋梗塞の一例

(北里大学 医学部 循環器内科) 飯倉早映子
池田 佑毅、橋本 拓弥、亀田 良、佐藤 伸洋、
阿古 潤哉

V-4 陳旧性心筋梗塞に非閉塞性冠動脈に伴う心筋虚血の合併を疑い精査を行った一例

(東京医科大学八王子医療センター 循環器内科) 原 詩織
大嶋桜太郎、田中 信大、山田 聡、外間 洋平、
小林 正武、寺澤 無量、中島 悠希、高木 竜、
可児 純也、池田 和正、岡野 智也、出口 陽之

V-5 心臓超音波検査にて冠動脈入口部の血栓を発見できた急性心筋梗塞の症例

(獨協医科大学日光医療センター 心臓血管腎臓内科) 杉山 拓史
水口 聡、前野 栄考、巴 崇、河邊 篤彦、
上野明日香、安 隆則

V-6 右冠動脈起始異常を伴う急性下壁心筋梗塞の一例

(東京医科大学茨城医療センター 循環器内科) 笠巻 凌太

V-7 右腎動脈瘤に対する1手術例

(東海大学医学部附属八王子病院 心臓血管外科)

古屋 秀和
田中 千陽、山口 雅臣、桑木 賢次

V-8 重症下肢虚血を伴う透析患者に対するレオカーナの使用経験

(総合高津中央病院 循環器内科)

丸山 高
山内 靖隆、高木 友誠、秋田 孝子、久原 亮二、
福田 正浩、宮本 明

V-9 Intravascular-imaging and pathology of in-stent neointima after drug-coated balloon angioplasty.

(日本大学 医学部 病態病理学系 人体病理学分野/日本大学 医学部 内科学系 循環器内科学分野)

(日本大学 医学部 病態病理学系 人体病理学分野)

(日本大学 医学部 内科学系 循環器内科学分野)

(日本大学 機能形態学系 細胞再生・移植医学分野)

右田 卓
山田 清香、羽尾 裕之
北野 大輔、奥村 恭男
李 予昕

V-10 動脈硬化性腎動脈狭窄に起因する治療抵抗性高血圧に両側下肢閉塞性動脈硬化症を合併した一例

(心臓血管研究所付属病院 循環器内科)

堀 光一郎
松野 俊介、岸上 大輝、田畑 達也、岸 幹夫、
嘉納 寛人、及川 裕二、矢嶋 純二

スポンサードセミナー2

11:40-12:30

「SGLT2阻害薬が拓く糖尿病治療の新時代」

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
座長 (信州大学医学部 循環器内科学教室) 桑原宏一郎

(群馬大学)

倉林 正彦

スポンサードセミナー6

12:40-13:30

心不全・不整脈に潜むATTR心アミロイドーシス～早期診断と治療の意義～

(信州大学医学部附属病院 循環器内科)

南澤 匡俊

画像モダリティを活用したATTR心アミロイドーシスの早期診断への試み

(熊本大学病院 画像診断・治療科)

尾田 清太郎

セッションVI

13:40-14:50

心不全

座長 (聖マリアンナ医科大学 薬理学) 木田 圭亮
座長 (かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科) 佐藤 直樹

VI-1 SGLT-2阻害薬が著効した低心拍出量症候群合併心不全の一例

(新渡戸記念中野総合病院 循環器内科)

渡邊 匠
禰木 優哉、大坂 友希、秦野 雄

VI-2 クライオバルーン肺静脈隔離術後に医原性中隔孔を介した右-左短絡により遷延する低酸素血症を認めた一症例

(獨協医科大学病院 心臓・血管内科/循環器内科)

北川 善之
篠田 雄平、井上 弘貴、齋藤 郁太、増山 大樹、
南 健太郎、上嶋 亨、豊田 茂
内藤 滋人
長沼 仁

(群馬県立心臓血管センター)

(国立病院機構 栃木医療センター)

- VI-3 急性骨髄性白血病に対する化学療法・移植療法後の低心機能心不全に対し、包括的薬物療法が奏功した一例
 (日本医科大学付属病院 循環器内科) 中村 広一
 浅見 慎思、中島 悠希、光永 りさ、新井 俊貴、
 蜂須賀誠人、関 俊樹、久保田芳明、岩崎 雄樹、
 清水 渉
 (日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科) 星加 優、山田 健太、日野 真彰、岡 英一郎、
 塩村 玲子、杉崎陽一郎、中田 淳、宮地 秀樹、
 山本 剛
 (日本医科大学付属病院 血液内科) 山口 博樹
- VI-4 入院時の経胸壁心エコー検査で両心室血栓形成を認めた心不全の1例
 (みなみ野循環器病院 循環器内科) 岡本 修一
 松三 博明、二階堂 暁、橋本 克史、幡 芳樹
- VI-5 巨大縦隔腫瘍の進展により心不全を来した一例
 (国立病院機構 横浜医療センター) 中島 聡良
 森 文章、齋藤 貴士、塚本 圭、前田 遼造、
 松井 優子、吉川 将史、坂井 政之、小林 献、
 芹川 直輝
- VI-6 当院でのCSI急性心不全の検討
 (松戸市立総合医療センター 循環器内科) 大北 翔吾
 福島 賢一、田邊 裕也、高橋 秀尚、堀 泰彦
- VI-7 サクビトリルバルサルタン (ARNI) により逆りモデリングが促進されたと考えられる高血圧性心疾患の一例
 (社会医療法人社団 順江会 江東病院 循環器内科) 山下 晴世
 高部 智哲、松本 貴弘、梶原 淳、山本 翔一、
 田宮 栄治、加納 達二
- VI-8 サルコペニア併存心不全における予後予測因子の検討
 (立正佼成会附属佼成病院) 尹 星恵
 今村 泰崇、金谷 允博、百瀬 裕一、神島 一帆、
 高昌 秀安、鈴木 和仁
- VI-9 透析中の慢性心不全患者にアンジオテンシン受容体/ネプリライシン阻害薬でリバースリモデリングを得た1例
 (東京都保健医療公社 大久保病院 循環器内科) 佐々木高史
 森山 優一、田邊 翔、川尻 紘平、大久保 亮、
 谷井 博亘、岡野 喜史、櫻田 春水
- VI-10 ベバシズマブによる心不全の1剖検例
 (日本大学 医学部 循環器内科) 橋本 直起
 玉城 貴啓

スポンサードセミナー 10 15:00-15:50
My Solutions for the Management of Critical Limb Ischemia

共催：株式会社カネカメディックス
座長 (日本赤十字社 長野赤十字病院 第二循環器内科) 宮下 裕介

(東京都済生会中央病院 循環器内科) 鈴木 健之
(信州大学医学部附属病院 循環器内科) 加藤 太門

スポンサードセミナー 13 16:00-16:50
ナトリウム利尿ペプチドを意識した高血圧・心不全治療～サクビトリアルバルサルタンの有用性を含めて～

共催：大塚製薬株式会社
座長 (JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 循環器内科) 矢崎 善一

(平光ハートクリニック) 平光 伸也

Clinical Research Award 17:10-18:00

座長 (日本医科大学大学院医学系研究科 循環器内科分野) 清水 渉
座長 (昭和大学病院 循環器内科) 新家 俊郎
審査委員長 (帝京大学医学部内科 循環器内科) 上妻 謙
審査委員 (慶應義塾大学 外科学 (心臓血管)) 志水 秀行
審査委員 (自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門) 苅尾 七臣
審査委員 (国際医療福祉大学 医学部 循環器内科学) 田村 雄一

Ⅲ-1 都心部生活保護受給心不全患者の臨床的特徴
(東京山手メディカルセンター 循環器内科)

渡部 真吾
酒井 映子、瀬戸口実玲、河本 史帆、村上 輔、
中島 淳、吉川 俊治、鈴木 篤、薄井 宙男

Ⅲ-2 令和元年東日本台風の水害による循環器・脳血管疾患発症の実態調査:SAVE研究
(長野市民病院 循環器内科)

(長野市民病院 循環器内科/みうらハートクリニック)
(長野市民病院 循環器内科/長野赤十字病院 循環器内科)
(長野赤十字病院 循環器内科/南長野医療センター篠ノ井総合病院 循環器内科)
(長野松代総合病院 循環器内科)
(長野中央病院 循環器内科)
(信州大学 医学部 循環器内科学教室)

春原 大輔
野本 史佳、板垣 惟、持留 智昭、笠井 俊夫、
池田 宇一
三浦 崇
小松 稔典
橋詰 直人
百瀬 智康
河野 恆輔
元木 博彦、桑原宏一郎

Ⅲ-3 CT-FFRの測定位置における予後の比較について
(順天堂大学大学院 医学研究科 循環器内科学講座)

(順天堂大学大学院 医学研究科 放射線医学教室 放射線診断学講座)

野崎 侑衣
藤本進一郎、川口 裕子、青島 千紘、加茂 夕紀、
高村 和久、工藤 綾子、高橋 大悟、比企 誠、
土肥 智貴、岡崎 真也、南野 徹
富澤 信夫

Ⅲ-4 左室駆出率が改善した心不全患者において拡張機能障害の残存は予後不良因子となる
(東京女子医科大学 循環器内科)

(東京女子医科大学 循環器内科/東京女子医科大学 先端生命医学研究所)
(済生会支部恩賜財団社会福祉法人 埼玉県済生会栗橋病院 循環器科)
(東京女子医科大学八千代医療センター 循環器内科)
(公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター 循環器内科)
(西新井ハートセンター病院 循環器内科)
(東京女子医科大学 東医療センター 心臓血管診療部)

高田 卓磨
吉田 彩乃、南 雄一郎、萩原 誠久
松浦 勝久
岸原 誠
渡邊正之助
城谷 翔太
阿部 拓朗
重城健太郎

Ⅲ-5 非心臓手術周術期における重症大動脈弁狭窄症患者の予後

(上越総合病院)

翁 佳輝
大堀 高志、降旗 宏典、西川 賢、塚田 俊一、
籠島 充

第Ⅳ会場

セッションⅦ

9:00-10:10

心不全2・弁膜症

座長 (丸子中央病院 内科) 小山 潤
座長 (東京医科歯科大学 循環器内科) 前嶋 康浩

Ⅶ-1 急性循環不全を伴う甲状腺クリーゼに対して早期補助循環導入により救命した一例

(SUBARU健康保険組合 太田記念病院)

三輪 俊介
能戸 辰徳、鮫島 雄祐、高江洲 悟、矢口 知征、
清水 貴之、武中 宏樹、長島 義宜、根本 尚彦、
安齋 均

Ⅶ-2 急性左心不全で緊急入院し、血行動態安定後にARNIを導入した心筋緻密化障害と考えられる一症例

(横須賀市立市民病院 循環器内科)

松本 祐介
坂 賢一郎、石井 一帆、高田 龍司、山口 健太、
鈴木 弘之

Ⅶ-3 低血圧、高心拍数を有するHFrEF患者に対しイバブラジンの投与が有効であった一例

(横浜医療センター 研修医)
(横浜医療センター 循環器内科)

高橋 実来
吉川 将史、芹川 直輝、小林 献、坂井 政之、
松井 優子、前田 遼造、塚本 圭、齋藤 貴士、
森 文章

Ⅶ-4 不安定狭心症治療後に原因不明の重症心不全をきたした造影剤腎症を伴う巨大内腸骨動脈瘤の一例

(戸田中央総合病院 心臓血管センター内科)

堀中 遼
吉田龍太郎、大西 将史、池部 裕寧、廣瀬 公彦、
土方 伸浩、元田 博之、湯原 幹夫、小堀 裕一、
武田 和夫、内山 隆史

Ⅶ-5 僧帽弁置換術6か月後に生体弁狭窄による心原性ショックをきたし、感染性心内膜炎が原因と判明した一例

(独立行政法人国立病院機構埼玉病院 循環器内科)

矢野 修平
小野 智彦、佐々木賢二、丹羽 直哉、田中 宏明、
徳田 華子、鶴見 昌史、矢嶋 紀幸、松村 圭祐、
鈴木 雅裕

(独立行政法人国立病院機構埼玉病院 心臓血管外科)

(独立行政法人国立病院機構埼玉病院 病理診断部)

配島 功成
羽尾 裕之、石田 剛

Ⅶ-6 三尖弁生体弁置換術後の重症三尖弁狭窄症に合併した重症僧帽弁閉鎖不全症に対してMitraClipを施行した一例

(東京女子医科大学 循環器内科)

畠山 岳
大槻 尚男、稲垣 裕介、田中 一樹、中尾 優、
嵐 弘之、山口 淳一、萩原 誠久、吉田 彩乃、
齋藤 千紘、芦原 京美

(東京女子医科大学 心臓血管外科)

(東京女子医科大学 循環器小児科)

早川美奈子、新浪 博士
道本 智、浅貝 省史

Ⅶ-7 繰り返す貧血でHeyde症候群が疑われ経カテーテル大動脈弁置換術が奏効した一例

(東京都立広尾病院 循環器科)

鈴木 丈也
新井 智之、水沼 吉章、吉川 正悟、鯨岡 裕史、
竹田 康佑、山岡広一郎、稲垣 大、吉田 精孝、
木村 高志、高橋 正雄、北條林太郎、土山 高明、
深水 誠二

Ⅶ-8 Ebstein奇形に冠動脈病変を合併し心不全を来した高齢者に対し、Cone手術を含む一期的根治術を行った一例

(昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科) 尾仲 紘輔
山口 裕己、中村 裕昌、光山 晋一、門脇 輔、
上野 洋資、片岡 紘士、青木 智之、内田 孝紀、
山崎 裕起

Ⅶ-9 重症大動脈弁狭窄症(Severe AS)に重度の閉塞性肥大型心筋症(HOCM)を合併した一例

(信州大学 医学部 循環器内科) 上甲 謙亮
能見 英智、金井 将史、永江 歩、南澤 匡俊、
吉江 幸司、加藤 太門、三枝 達也、
海老澤聡一朗、岡田 綾子、元木 博彦、
桑原宏一郎

セッションⅧ
肺高血圧・静脈

10:20-11:30

座長 (群馬大学 循環器内科) 高間 典明
座長 (信州大学 循環器内科) 木村 和広

Ⅶ-1 肺線維症による肺移植待機中に肺高血圧症増悪を来した1例

(群馬大学医学部附属病院 循環器内科) 椎名 貴行
高間 典明、谷内 亮太、天内 士郎、佐野 幸恵、
石橋 洋平、藍原 和史、長坂 崇司、金古 善明

Ⅶ-2 腎癌に合併した広範型肺血栓塞栓症に対してVA-ECMO下での根治的介入が奏功した一例

(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 循環器内科) 峯本 麻由
中川 堯、久保田修司、山本 正也、原 久男、
廣井 透雄
(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 心臓血管外科) 田村 智紀、宝来 哲也
(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 肝胆臓外科) 伊藤 橋司、竹村 信行

Ⅶ-3 新型コロナウイルスワクチン接種による肺血栓塞栓症症例の検討

(川崎市立多摩病院 循環器内科) 石垣 彩
笠川 彰、本郷 玲、鈴木 知美、山崎 浩史、
宮崎 秀和、樋熊 拓未

Ⅶ-4 卵巣癌患者に対し抗凝固薬使用下において下肢静脈血栓症が増悪し下大静脈フィルターを留置した一例

(東京医科大学茨城医療センター 循環器内科) 落合 徹也
東谷 迪昭、笠巻 凌太、大越 聡子、田谷 侑司、
根本 佳子、小松 靖、阿部 憲弘

Ⅶ-5 高ホモシステイン血症を背景とし、肺胞出血を合併した肺血栓塞栓症を発症した一例

(東京医科大学 医学部 循環器内科) 中山 知章
藤井 昌玄、熊井 健人、青木 萌子、佐々木由佳、
富士田康宏、中野 宏己、山下 淳、椎名 一紀、
近森大志郎

Ⅶ-6 腸骨静脈圧迫症候群による深部静脈血栓症に対してカテーテル治療を行うも治療に難渋した1例

(新潟県立中央病院 循環器内科) 西田 京香
渡邊 達、澤口 源太、内田 圭祐、黒川 孝国、
萱森 裕美、西川 尚、小川 理

VIII-7 右房内血栓及び肺動脈血栓塞栓症術後の酸素化不良に対してNO吸入療法が著効した1例

(帝京大学 医学部附属病院 心臓血管外科)

齋藤 真人
浦田 雅弘、松沢 拓弥、根本 尚久、植原 裕雄、
内山 雅輝、堀 貴之、尾澤 直美、石井 光、
今水流智浩、下川 智樹

VIII-8 先天性アンチトロンビン欠乏症患者の妊娠を契機に深部静脈血栓症を発症した一例

(昭和大学江東豊洲病院 循環器センター循環器内科)

石永 智之
西藏 天人、森村 光幸、千野 沙織、鈴木 俊晃、
柴田 恵多、古屋 貴宏、太田 礼、佐藤 千聡、
池田 尚子、菊地 美和、若林 公平、丹野 郁

VIII-9 SARS-CoV-2ワクチン接種後にmassiveP.Eを発症した一例

(相模原協同病院 循環器科)

渡辺 友樹
井関 治和、干場 泰成、杉本 篤彦、伊藤 大起、
田宮 青滋、吉澤 智治、澤田 明和、坂本 容規、
土居 祥子、荒川 雄紀、石崎 祐弥

スポンサードセミナー 3

11:40-12:30

「データベースによる臨床・基礎研究からみた心腎連関」

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科) 吉村 道博

(阪和第二泉北病院)

北風 政史

スポンサードセミナー 7

12:40-13:30

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長 (千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学) 小林 欣夫

座長 (獨協医科大学病院 心臓・血管内科/循環器内科) 阿部 七郎

Opening remarks 「臨床現場におけるClinical Question」

(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

田中 信大

基調講演「重要性を増す冠微小循環障害の意義 —循環器領域におけるパラダイムシフト—」

(国際医療福祉大学 / 東北大学)

下川 宏明

セッション区

13:40-14:50

不整脈 1

座長 (東京慈恵会医科大学 循環器内科) 山根 禎一

座長 (信州大学病院 循環器内科) 岡田 綾子

IX-1 心房細動アブレーション後、DOAC継続下に脳梗塞を発症し原発性抗リン脂質抗体症候群と診断された一例

(群馬県立心臓血管センター 循環器内科)

原口裕美子
中村 紘規、瀧澤 良哉、木村 光輝、佐々木 渉、
吉村 真吾、岸 翔平、佐々木健人、中谷 洋介、
後藤 貢士、三樹 祐子、武 寛、粕野 健一、
内藤 滋人

IX-2 心房細動における、血中MMP/TIMPのバイオマーカーとしての有用性

(横浜市立大学附属病院 循環器腎臓高血圧内科)

成川 雅俊
田口 有香、井上 満穂、細田 順也、石川 利之、
田村 功一

IX-3 大出血既往例に対する経皮的左心耳閉鎖術後の抗血栓療法についての検討
(千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学) 龍崎 智子
近藤 祐介、仲野 美代、伊藤 竜、北川 真理、
菅原 暢文、千葉 俊典、小林 欣夫
(千葉大学大学院 医学研究院 不整脈先端治療学) 中野 正博、梶山 貴嗣

IX-4 VT stormに対して緊急アブレーションが奏功した一例
(済生会横浜市東部病院) 合田秀太郎
酒井 毅、浅見 雅子

IX-5 心室細動蘇生後に顕在化するJ波を認めた早期再分極症候群の一例
(東京都立多摩総合医療センター 循環器内科) 中村 沙織
西村 睦弘、守井 悠祐、塩崎 正幸、安西 耕、
加藤 賢、田中 博之

IX-6 薬剤コントロール困難なVT stormに心外膜アブレーションが著効した肥大型心筋症の一例
(信州大学 医学部 循環器内科) 青木 萌子
正印 航、永江 歩、原田美貴子、桑原宏一郎、
元木 博彦、岡田 綾子、海老澤聡一朗、
三枝 達也、吉江 幸司、岡野 孝弘、小林 秀樹、
田畑 裕章

IX-7 不整脈源性を伴った下肺静脈共通幹の解剖に応じた隔離に成功した一例
(日本医科大学付属病院) 伊藤 紳晃
岩崎 雄樹、清水 渉
(日本医科大学武蔵小杉病院) 丸山 光紀、野原 剛、坪井 一平、石原 嗣郎

IX-8 左冠尖にて良好な局所電位とマッピングが得られるも大心静脈内の通電にて治癒しえたLV summit起源PVCの一例
(獨協医科大学病院 医学部 心臓・血管／循環器内科) 増山 大樹
南 健太郎、篠田 雄平、井上 弘貴、齊藤 郁太、
北川 善之、上嶋 享、豊田 茂
(那須赤十字病院) 景山 倫也
(群馬県立心臓血管センター) 中村 紘規、内藤 滋人

スポンサードセミナー 1 1 15:00-15:50 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
[心房細動アブレーションの適応、タイミング、安全性] 座長 (日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科) 奥村 恭男

(群馬県立心臓血管センター 循環器内科) 中村 紘規

スポンサードセミナー 1 4 16:00-16:50 共催：日本メドトロニック株式会社
TAVR塾 座長 (昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門) 新家 俊郎
座長 (群馬県立心臓血管センター 循環器内科) 河口 廉

[Cusp Overlap TechniqueでEvolutの成績を向上させる]
(順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科) 土井信一郎

[Low Risk時代のTAVI]
(帝京大学医学部附属病院 循環器内科) 渡邊 雄介

座長 (東海大学医学部付属病院 循環器内科) 伊苅 裕二
 座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科) 藤田 英雄
 審査委員長 (千葉大学 循環器内科学) 小林 欣夫
 審査委員 (横浜市立大学附属病院 循環器内科) 石川 利之
 審査委員 (聖マリアンナ医科大学 循環器内科) 明石 嘉浩
 審査委員 (獨協医科大学 心臓・血管内科/循環器内科 救命救急センター) 菊地 研

IV-1 インターロイキン5阻害薬の導入に伴い心機能が改善した好酸球性多発血管炎肉芽種症の一例
 (新潟大学医歯学総合病院 循環器内科)

関谷 祐香
 大久保健志、土谷 浩気、坂口 裕太、久保田直樹、
 高山 亜美、木村 新平、保屋野 真、柳川 貴央、
 柏村 健、尾崎 和幸、猪俣 孝元

IV-2 ダノン心筋症合併妊娠症例における心不全および心室性不整脈コントロール

(信州大学医学部附属病院 循環器内科/北アルプス医療センターあづみ病院 循環器内科)
 (信州大学医学部附属病院 循環器内科)

井上 航
 元木 博彦、丸山 周作、永江 歩、吉江 幸司、
 加藤 太門、三枝 達也、海老澤聡一朗、
 岡田 綾子、桑原宏一郎
 (信州大学医学部附属病院 循環器内科/飯田市立病院 循環器内科) 辻中 佑介

IV-3 弾性線維性仮性黄色腫を背景とした末梢動脈疾患の治療に難渋した一例

(信州大学 医学部 循環器内科)

宮尾 陽平
 加藤 太門、桑原宏一郎、元木 博彦、岡田 綾子、
 海老澤聡一朗、三枝 達也、永江 歩、
 植木 康志、木村 和広、丸山 周作、町田 圭介、
 由井 寿典、神崎 佑介、能見 英智

IV-4 心停止を契機に診断されたACTH単独欠損症を合併した心筋炎の一例

(日本赤十字社医療センター 第一循環器内科)

黒木菜見人
 越田 直也、堀江 華奈、小林 裕貴、笠原 智大、
 金子 沙樹、山本 溪介、瀧澤 雅隆、魚住 博記、
 池ノ内 浩

IV-5 胸痛の鑑別に苦慮し、最終的に心膜外脂肪壊死の診断に至った一例

(三井記念病院 循環器内科)

権田 勇樹
 堀内 優、阿佐美匡彦、矢作 和之、湯澤ひとみ、
 小宮山浩大、田中 旬、青木 二郎、田邊 健吾

第V会場

セッションX
不整脈2・デバイス

9:00-10:10

座長 (東京女子医科大学 循環器内科) 庄田 守男
座長 (杏林大学医学部 不整脈先進治療学研究講座) 佐藤 俊明

- X-1 心原性ショックと左房内血栓形成を来たした三尖弁輪中隔側起源のFocal ATの一例
(獨協医科大学病院 心臓・血管内科/循環器内科) 井上 弘貴
南 健太郎、篠田 雄平、斎藤 郁太、増山 大樹、
北川 善之、上嶋 亨、豊田 茂
- X-2 上室性期外収縮がたこつぼ型心筋症後Torsade de Pointesの誘因となった一例
(東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科) 新井莉紗子
大瀬戸宏綱、山下 省吾、佐藤 秀範、横山 正明、
鳴井 亮介、加藤 美香、谷川 真一、徳田 道史、
山根 禎一、吉村 道博
- X-3 頻脈性心房細動のアブレーション後、QT延長の顕在化および、Torsades de pointes(TdP)を繰り返した1例
(長野中央病院 循環器内科) 齊藤 和紀
林 充那登、板本智恵子、河野 恆輔
- X-4 冠攣縮が陳旧性心筋梗塞(OMI)瘢痕起源の心室頻拍/細動(VT/VF)の誘因と考えられた一例
(公立昭和病院 循環器内科) 森下 圭
田中 茂博、新井 諒一、村上 貴彦、岡田 健助、
松永 紘、朝田 一生、大森 康歳、石原有希子、
鴨井 祥郎
- X-5 広範前壁心筋梗塞後7日目に生じたElectrical stormに対し血行再建及びカテーテル心筋焼灼術が奏功した1例
(日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科) 鈴木 裕貴
岡 英一郎、松田 淳也、中村 広一、石原 翔、
星加 優、日野 真彰、塩村 玲子、澁谷 淳介、
中田 淳、宮地 秀樹、山本 剛
(日本医科大学付属病院 循環器内科) 新井 俊貴、淀川 顕司、岩崎 雄樹、清水 渉
- X-6 ペースメーカーリード穿孔に起因すると思われる収縮性心膜炎を発症し、心膜切除術を施行した一例
(相模原協同病院) 干場 泰成
井関 治和
- X-7 石灰化が著しく剥離困難な植え込み型除細動器断線リードをRotationガイドレーターシースで抜去出来た一例
(昭和大学 医学部 内科学講座 循環器部門) 小林 和貴
横田 裕哉、猪口孝一郎、宮崎はるか、吉川 浩介、
後閑 俊彦、小川 洸、千葉 雄太、大西 克実、
浅野 拓、新家 俊郎
- X-8 新規右脚ブロックにより皮下植え込み型除細動器(S-ICD)が頻回作動した一例
(昭和大学藤が丘病院 循環器内科) 大村 歩
小貫 龍也、間瀬 浩、倉田 征昭、鈴木 洋

X-9 30年前に留置され高度石灰化を伴う組織と癒着したペースメーカーリードを抜去した一例

(信州大学 医学部附属病院 循環器内科)

神津 亮輔
田畑 裕章、正印 航、小林 秀樹、岡野 孝弘、
三枝 達也、海老澤聡一朗、岡田 綾子、
元木 博彦、桑原宏一郎
庄田 守男

(信州大学 医学部附属病院 循環器内科/東京女子医科大学病院 循環器内科)

セッションXI

10:20-11:30

心膜・腫瘍・大動脈

座長 (日本医科大学付属病院 循環器内科) 坏 宏一
座長 (信州大学医学部附属病院 心臓血管外科) 瀬戸達一郎

XI-1 心腔内超音波、血管内視鏡を使用し安全に生検を行えた心臓腫瘍の一例

(東海大学 循環器内科)

河原 洋
伊苺 裕二、田中 重光、棗田 誠、鳥居 翔、
上岡 智彦、宮本 淳一、斎藤 崇史、飯村 和真

XI-2 難治性胸水貯留を伴う収縮性心膜炎の一例

(かわぐち心臓呼吸器病院)

西脇 溪
佐藤 直樹、石塚 淳史、太田 裕士、大山 慶介、
秋山 英一、中石 徹、油井 慶晃、徳山 榮男

XI-3 高Ca血症を合併し著明な心膜肥厚を認めた亜急性心膜炎の一例

(茨城県立中央病院 循環器内科)

掛田 大輔

XI-4 失神を主訴に受診した原発性心臓血管肉腫の一例

(多摩南部地域病院 循環器内科)

渡邊 良太
瀬戸口雅彦、上関友里恵、水谷 知泰、押田 成人、
小川 亨、吉崎 彰、鈴木 建則
(榊原記念病院 心臓血管外科)
在國寺健太
(千葉大学医学部附属病院 循環器内科)
小林 欣夫

XI-5 右房内血液嚢腫の一例

(東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科)

有村 聡士
朔 浩介、高木 智充、星野 理、阿部 貴行、
松村 洋高、益澤 明広、儀武 路雄、長堀 隆一、
坂東 興、國原 孝

XI-6 コロナウイルス修飾ウリジン RNA ワクチンの関連が疑われた急性心膜炎の一例

(公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院)

佐藤 岳史
渡邊 真広、井上 完起、樋口 亮介、田中 悌史、
高見澤 格、関口 幸夫、新田 順一、七里 守、
井口 信雄、高山 守正、磯部 光章

XI-7 脳梗塞を契機に発見された若年女性の心室内腫瘍性病変の一例

(昭和大学病院 内科学講座 循環器内科部門)

新井 帝東
望月 泰秀、新家 俊郎
(関東労災病院 内科系 循環器内科)
久保田芽生、野村 康介、千葉 雄太、山口 薫、
渡邊 則和、柴田 正行、並木 淳郎
(川崎幸病院 川崎心臓病センター 心臓外科)
高梨秀一郎

XI-8 弓部大動脈置換術後に吻合部仮性瘤の人工血管圧排狭小化による心不全を発症した一例
(荻窪病院 循環器内科) 廣部 航平
大塚 雅人、福島 博、宗次 裕美、加畑 充、
熊谷 麻子、井上 康二、小金井博士、石井 康宏
(荻窪病院 心臓血管外科) 浅野 竜太、松岡 志超、藤井 奨、澤 重治

XI-9 若年低リスク患者に発症したStanford A型偽腔開存型解離の一例
(NTT東日本関東病院 循環器内科) 春木 耀介
山崎 允喬、持田高太朗、山崎 正雄、久米 里実、
西條 大悟、芦浦 大輝、松下匡史郎、佐藤 高栄、
生富 公康、澤田 直子

スポンサードセミナー 4 11:40-12:30 共催：アストラゼネカ株式会社、小野薬品工業株式会社
『心腎連関を見据えたこれからの心不全診療』 座長 (信州大学医学部 保健学科) 伊澤 淳
(獨協医科大学 心臓・血管内科/循環器内科) 豊田 茂

スポンサードセミナー 8 12:40-13:30 共催：フクダ電子長野販売株式会社
AIと遠隔モニタリングを用いた心房細動の早期発見 座長 (東邦大学医療センター大森病院 循環器内科) 池田 隆徳
(東京医科歯科大学医学部附属病院 循環器内科) 笹野 哲郎

セッションXII 13:40-14:50
心内膜炎 座長 (東京女子医科大学 循環器内科) 芦原 京美
座長 (東京大学医学部附属病院 検査部) 大門 雅夫

XII-1 急性増悪する敗血症性肺塞栓の臨床像を呈したが内科的治療が奏功した心室中隔欠損合併感染性心内膜炎の一例
(茨城西南医療センター病院 循環器内科) 高橋 進
長塩 憲司、寺内 泰観、林 孝典、酒井 俊介、
羽鳥 光晴、前田 裕史

XII-2 感染徴候を来さないため診断に苦慮した感染性心内膜炎の1例
(川崎幸病院心臓病センター) 木村 隆大
板倉 大輔、門間 周、和田 真弥、山本 慧、
佐々木法常、安藤 智、齋藤 直樹、高橋 英雄、
福富 基城、羽鳥 慶、大西 隆行、川上 徹、
福永 博、桃原 哲也

XII-3 活動性感染性心内膜炎に対する大動脈弁置換術後に大動脈弁下巨大心室中隔瘤を生じた一例
(さいたま市立病院初期研修医) 田村 匡史
(さいたま市立病院循環器内科) 勝木 俊臣、中嶋 一晶、宗形 昌儒、秋間 崇、
神吉 秀明、小山 卓史
(さいたま市立病院心臓血管外科) 島村 吉衛

XII-4 Staphylococcus lugdunensisが起因菌の感染性心内膜炎により急激な転帰を辿った症例
(横須賀市立市民病院 循環器内科) 高田 龍司
坂 賢一郎、鈴木 弘之、松本 祐介、山口 健太、
石井 一帆
(横須賀市立市民病院 病理診断科) 竹川 義則

XII-5 心嚢液貯留を契機に人工弁置換後感染性心内膜炎の診断に至った一例
(札幌東徳洲会病院 循環器内科) 仙波 尚之
(済生会宇都宮病院 循環器内科) 横田 裕之、西田 裕明、森 健支、八島 史明、
下地顕一郎、上野 耕嗣、野間 重孝
(済生会宇都宮病院 心臓血管外科) 橋詰 賢一

XII-6 David-Komeda 法を施行後、慢性期に感染による仮性心室瘤を発症した1例
(帝京大学医学部附属溝口病院 循環器内科) 高橋 慎司
鈴木 伸明、横井 樹、西出 征司、青柳 貴、
白鳥 宜孝、速水 紀幸
(帝京大学医学部附属病院 循環器内科) 大宮 讓、日置 紘文、横山 直之、上妻 謙
(帝京大学医学部附属病院 心臓血管外科) 齋藤 真人、今水流智浩、下川 智樹

XII-7 巨大子宮腺筋症に伴う非細菌性血栓性心内膜炎により多発脳梗塞をきたした一例
(自治医科大学 内科学講座 循環器内科学部門) 坂田 知久
原田 顕治、三玉唯由季、苅尾 七臣

XII-8 ST上昇型急性心筋梗塞で入院となり、のちに感染性心内膜炎および疣贅塞栓の診断に至った一例
(武蔵野赤十字病院 循環器科) 照井(松山)麻央
岸上 哲也、中島 良太、堀江 知樹、大方信一郎、
長瀬 将、新田 義一、渡辺 敬太、宮崎 亮一、
金子 雅一、永嶺 翔、李 哲民、永田 恭敏、
野里 寿史、足利 貴志

XII-9 リード感染を伴う感染性心内膜炎に対するデバイス抜去術後IgA血管炎を発症した閉塞性肥大型心筋症の一例
(千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学) 千葉 俊典
岡田 将、近藤 祐介、小林 欣夫

XII-10 縦隔膿瘍を形成した大動脈弁置換術後の感染性心内膜炎に対する外科治療の一例
(日本医科大学 武蔵小杉病院 心臓血管外科) 網谷 亮輔
廣本 敦之、鈴木 憲治、坂本俊一郎
(日本医科大学 附属病院 心臓血管外科) 村田 智洋、石井 庸介

スポンサードセミナー 1 2 15:00-15:50
TAVI low risk 時代の診断と治療 ~Reaching NEW Heights さらなる高みを目指して~

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社
座長 (筑波メディカルセンター病院 循環器内科) 仁科 秀崇

(榊原記念病院 循環器内科)
(信州大学医学部附属病院 循環器内科)

樋口 亮介
三枝 達也

スポンサードセミナー 1 5 16:00-16:50
~超低用量DOAC時代を整理! ~高齢心房細動患者、真のon-labelとは?

共催：第一三共株式会社
座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科) 和泉 大輔

(公益財団法人 心臓血管研究所)

鈴木 信也

座長 (東京大学大学院医学系研究科 心臓外科) 小野 稔
 座長 (東京医科歯科大学 循環器内科) 笹野 哲郎
 審査委員長 (日本大学医学部 内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男
 審査委員 (慶應義塾大学医学部 放射線科学) 陣崎 雅弘
 審査委員 (東京大学大学院医学系研究科 重症心不全治療開発講座) 波多野 将
 審査委員 (横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学) 田村 功一

V-1 肺高血圧症を伴う虚血性心筋症に対し骨格筋芽細胞シート移植を行った一例

(東京大学医学部附属病院 心臓外科)

南学 正仁

小前 兵衛、堯天 孝之、星野 康弘、安藤 政彦、

嶋田 正吾、木下 修、山内 治雄、小野 稔

(東京大学医学部附属病院 循環器内科)

角田 昇隆、小室 一成

(東京大学大学院医学系研究科 重症心不全治療開発講座)

網谷 英介、波多野 将

V-2 免疫チェックポイント阻害薬関連心毒性発症後の心筋ストレインの経時的変化を観察評価した1例

(新潟市民病院 循環器内科)

大窪 愛香

土田 圭一、池杉 駿生、渡辺 顕、小柳 宣人、

中野 賢治、土谷 浩気、林 由香、田中 孔明、

保坂 幸男、高橋 和義

(新潟県立がんセンター新潟病院 腫瘍循環器科)

大倉 裕二

V-3 冠攣縮性狭心症に伴う心筋梗塞発症と性差との関連

(東京都立多摩総合医療センター 循環器内科)

富永 健太

安西 耕、尼崎 雄大、三輪 裕仁、中村 沙織、

河内 啓貴、中村 真、守井 悠祐、任 芝杏、

尾川 理紗、櫻井進一郎、塩崎 正幸、宮部 倫典、

大塚 佳満、森永 弘章、西村 睦弘、三ツ橋佑哉、

加藤 賢、田中 博之

V-4 単独三尖弁逆流症の至適手術時期を考える～弁置換術後に意識障害を伴う心不全増悪を繰り返した1例

(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 循環器センター内科)

奥田 彩楽

小宮山知夏、藤原 秀臣、大津 裕、播磨 綾子、

福本 梨沙、太田 光彦、山口 徹雄、西山 信大、

藤本 陽、児玉 隆秀

(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 循環器センター外科)

中永 寛、井上 堯文、佐藤 敦彦、松山 重文、

田端 実

(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 循環器センター内科)

(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 健康管理センター)

大本由樹

-5 新型コロナウイルスワクチン接種後に心膜心筋炎をきたした若年患者2例の臨床像

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野) 田原 紘樹

篠原 正哉、村上 敬規、岡 洋祐、和田遼

野池 亮太、藤野 紀之、池田 隆徳

第Ⅵ会場

第9回ダイバーシティフォーラム 9:00-10:30

第5回めざせ循環器専門医！ 循環器専門医試験対策セミナー 座長（国立病院機構相模原病院 循環器内科）森田有紀子

虚血性心疾患

（埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科） 中笠信太郎

心不全+心筋疾患・弁膜症

（自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科） 藤田 英雄

日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部の合同シンポジウム 11:00-12:30

「現代の心リハ Pros & Cons」

座長（日本心臓血圧研究振興会附属神原記念病院 循環器内科）中山 敦子

座長（順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科）齊藤 正和

1. 心疾患患者の科学的な運動機能評価はCPXか？それ以外か？（ガイドラインでもルーチンのCPX検査はクラスⅢ）

CPXの優位性

CPX担当 PT（設楽 達則：群馬県立心臓血管センター リハビリテーション課）
（小林 康之：群馬県立心臓血管センター 生体検査課）
（村田 誠、安達 仁：群馬県立心臓血管センター 循環器内科） vs

心疾患患者における運動負荷試験以外の運動機能評価の科学的根拠

CPX以外担当 PT（笠原 西介：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 リハビリテーション部）
（明石 嘉浩：聖マリアンナ医科大学循環器内科）
（井澤 和大：神戸大学医学部保健学科）
（武市 尚也、渡辺 敏：聖マリアンナ医科大学リハビリテーションセンター）
（根本 慎司：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

2. 心リハの醍醐味は急性期か回復期か？（現状では急性期以外の心リハの実施率が極めて低いため）

心リハの醍醐味は急性期にこそある

急性期担当 医師（加藤 祐子：心臓血管研究所 循環器内科） vs

回復期の心リハで味わえる疾病管理、患者支援の醍醐味とは

慢性期担当 医師（小幡 裕明：新潟南病院 内科・リハビリテーション科）

3. 心リハはオンラインか？オフラインか？（多くのエビデンスがないにも関わらず、遠隔リハが既にIIa）

心リハはオンラインか？オフラインか？ 回復期遠隔心リハ多施設研究からの報告

オンライン派 医師（網谷 英介：東京大学医学部 重症心不全治療開発講座） vs

心臓リハビリテーションをオフラインで行う醍醐味

オフライン派 医師（足利 光平：聖マリアンナ医科大学 スポーツ医学講座）
（明石 嘉浩：聖マリアンナ医科大学 循環器内科）

第16回 榊原記念研究助成 研究成果発表会 13:00-15:15

13:00-13:10 理事長挨拶

(日本心臓血圧研究振興会) 矢崎 義雄

13:10-13:15 第19回 榊原記念研究助成 採択者発表

13:15-14:30 第16回 榊原記念研究助成 研究成果発表会

座長 (大阪大学キャンパスライフ健康支援センター) 瀧原 圭子

座長 (日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院) 磯部 光章

14:30-15:15 特別講演『コロナ時代の医療デジタル改革』

座長 (日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院) 友池 仁暢

(自治医科大学) 永井 良三

学術委員会企画セッション

15:30-17:00

「心房細動を極める！」

座長 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科) 林 英守

座長 (自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門) 渡部 智紀

座長 (千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学) 近藤 祐介

心房細動検出の最新の話『デジタルヘルスをどう使いこなすか』

(京都府立医科大学 不整脈先進医療学講座) 妹尾恵太郎

心房細動治療の最新の話『パルスフィールドアブレーションの実践』

(Cardiologisches Centrum Bethanien (CCB), Medizinische Klinik III, Agaplesion Markus Krankenhaus Abteilung für Kardiologie) 東北 翔太

心房細動による認知症～そのメカニズム考察～

(国立循環器病研究センター 脳神経内科) 猪原 匡史

Student Award

17:10-18:00

座長 (東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学) 池田 隆徳

座長 (筑波大学医学医療系 循環器内科) 家田 真樹

審査委員長 (日本医科大学武蔵小杉病院 総合診療科) 塚田(哲翁) 弥生

審査委員 (防衛医科大学校 循環器内科) 足立 健

審査委員 (獨協医科大学 先端医科学研究センター) 井上 晃男

審査委員 (日本医科大学付属病院 循環器内科) 岩崎 雄樹

VI-1 ARNI導入時に低心拍出量症候群となり心不全バイオマーカーの解釈に難渋した拡張型心筋症の一例

(北里大学 医学部6年) 宮城 佑規

(北里研究所病院 循環器内科) 藤吉 和博、鈴木 黛、石田 三和、石田 弘毅、

東條 大輝

(北里大学医学部 循環器内科学) 阿古 潤哉

VI-2 肺高血圧症を呈したJAK 2遺伝子異常を伴う真性多血症に対する多剤併用治療が奏功した1例

(杏林大学医学部5年) 百瀬 利一

(杏林大学医学部付属病院循環器内科) 竹内かおり、泉 圭一、仲 悠太郎、竹内 真介、

菊池 華子、合田あゆみ、伊波 巧、河野 隆志、

副島 京子

VI-3 深層学習を活用した心エコー法における左心内膜自動トレース

(東京医科歯科大学 医学部 医学科/東京医科歯科大学 循環器内科/国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野) 小野駿三郎

(東京医科歯科大学 循環器内科) 落田 美瑛、有馬 秀紀、笹野 哲郎

(国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野/理化学研究所 革新知能統合研究センター がん探索医療研究チーム) 小松 正明

(富士通株式会社 富士通研究所 研究本部 人工知能研究所/理化学研究所 理研AIP-富士通連携センター) 安富 優

(富士通株式会社 富士通研究所 研究本部 人工知能研究所/理化学研究所 理研AIP-富士通連携センター/東京医科歯科大学 NCC循環器医学) 酒井 彬

VI-4 現病歴を用いた自然言語処理～人工知能による冠攣縮性狭心症の診断の試み

(東京大学医学部附属病院 循環器内科)

清原 悠嵩

小寺 聡、仁宮 洸太、澤野晋之介、勝然 進、
篠原 宏樹、皆月 隼、菊池 宏信、東邦 康智、
藤生 克仁、安東 治郎、赤澤 宏、小室 一成

VI-5 外腸骨静脈瘤血栓による肺血栓塞栓症を保存的に加療した一症例

(国際医療福祉大学 医学部 医学科)

TALGAT TILYEUBYEK

(国際医療福祉大学成田病院 循環器内科)

館野 馨、中井 大貴、門間 雄斗、福岡 良磨、
杉本 一将、吉澤 彰宏、相澤 義泰、中山 崇、
杉村宏一郎、稲見 茂信、加藤 倫子、藤本 善英、
永井 敏雄、河村 朗夫

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部役員)

第4条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第5条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
- 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
- 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第6条

- 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習

- 会担当幹事 1 名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事 1 名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
 5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
 6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

（支部評議員）

第 7 条

2. 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より 15 日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の 3 項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65 歳以下で 7 年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去 5 年間に 3 演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

（地方会会長）

第 8 条

2. 支部規程第 11 条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より 15 日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座

開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。

10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第9条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第10条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第11条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華やかな懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。

13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第12条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第13条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。
- 2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。
- 3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。
- 4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂



Better Health, Brighter Future

一人でも多くの人に、かけがえのない人生を
より健やかに過ごしてほしい。

タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来
人々の人生を変えうる革新的な医薬品の創出を通じて
社会とともに歩み続けてきました。

タケダはこれからも、グローバルなバイオ医薬品の
リーディングカンパニーとして、より健やかで輝かしい未来を
世界中の人々へお届けするために挑戦し続けます。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp






高脂血症治療剤 薬価基準収載

パルモディア[®]錠 0.1mg

PARMODIA[®] TAB. 0.1mg (ベマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

 製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2020年9月作成



協和キリン株式会社

KYOWA KIRIN

私たちの志 検索 

2019年7月作成

